



特集



子どもを守る / 大人の防災グッズに **プラス** しよう!


子どもの防災グッズ



緊急避難!




おさんぽバッグ  に **プラス**

常にバッグに入れておき、誰でもすぐに使えるように!

- 母子健康手帳
- お薬手帳
- 笛  (助けが必要な時に)
- 保険証のコピー
- 常用している薬
- お菓子 (キャラメル・あめなどカ
ロリーの高いものを少し)
- 診察券
- 止血パッド
- 抱っこ紐 (ベビーカーの時も持ち歩
くと、避難時に便利です)

自宅から避難!

非常持出品に **プラス**

- 防災ずきん・ヘルメット
 - レインコート
 - マスクや軍手(手袋など)
 - 衣料品3日分(特に下着)
 - おむつ3日分
 - おしりふき(ウェットティッシュ)
 - 粉ミルク3日分
 - 哺乳瓶(使い捨てタイプなど)
 - 子どもの食料3日分 (月齢に合っ
た好きな物)
 - 離乳食スプーン 
 - 食品用ラップ (スプーンや皿に巻
けば汚さず使える)
 - 紙コップ&ストロー
 - 軽くて小さいおもちゃ 
 - 子ども用ハブラシ
 - くつ 
- 着て行く

災害時自宅で過ごすための!



非常用備蓄に **プラス**

- 飲料水7日分 (1人1日3リットル、
粉ミルク用も)
- 粉ミルク7日分
- 子どもの食料7日分 (月齢に合っ
た好きな物)
- 紙おむつ&おしりふき7日分

日頃の備えや緊急時の対応など、詳細は「わが家の安心安全ガイドブック」
(平成24年3月鹿児島市発行)をご覧ください。

詳しくは





「使える備え」にしよう！ 子どもの防災グッズのそろえ方のコツ！



☑ 買い置きを備蓄に！ 「ローリングストック」を活用！

日頃から非常食を食べて、食べたらいち足すを繰り返す「ローリングストック方式」を活用しましょう。普段から食べているため、災害時にも安心して食べられます。

また、年齢に合わせて変化していく非常食や消耗品（おむつなど）の管理がしやすくなります。



☑ 子どもが 食べられるものを 用意しよう！

防災用の
お菓子やパン、
フルーツの缶詰



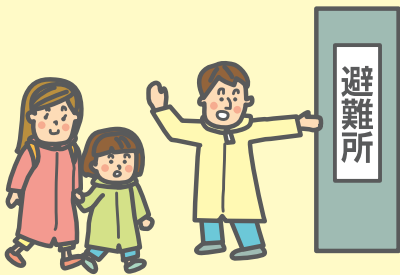
など子どもが食べ慣れたものや好物を用意してあげましょう。

アレルギーがある場合は、少し多めにアレルギー対応食を用意しましょう。

☑ 持出品は持ち出せる重さに！

持出品は最小限に、用途が併用できるものを活用しましょう。

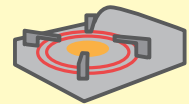
特に小さい子どもがいる場合、子どもを抱っこした状態で一緒に持てる重さかあらかじめ確認してみてください。



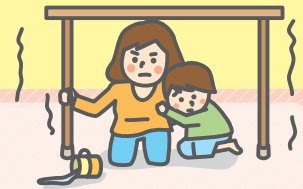
☑ 避難生活の不安を やわらげよう！

その子ならではの日常に必要なものがあれば用意を。

また発熱材やカセットコンロ&ガスボンベを用意しておくことで、温かいものを食べることができ、気持ちもほっとあたたまります。



いざという時に慌てないように、あらかじめ記入しておきましょう。



わが家の防災メモ

避難所	家族が離ればなれになった時の集合場所			
家族の連絡先・データ	氏名	携帯電話	会社・学校	会社・学校の電話